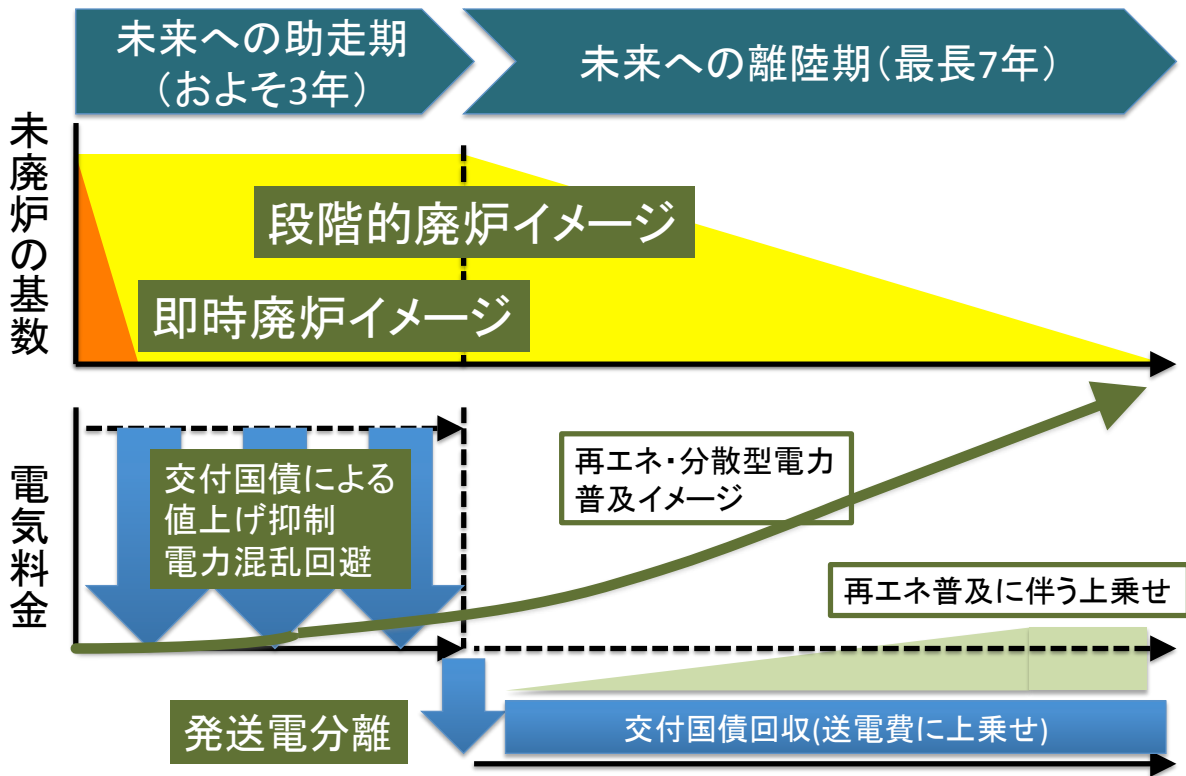


# 卒原発カリキュラム骨子のイメージ



## 未来への助走期 (およそ3年) → 未来への離陸期 (最長7年) → 未来へのエネルギーシフト

- **卒原発の前提条件**  
 ~動かさない、造らない、ゴミを増やさない、値切らない
1. 大飯原発の即時稼働停止 (他の原発再稼働も認めない)
  2. 大間原発等の建設中を含む原発新增設の禁止
  3. 高速増殖炉もんじゅと六ヶ所再処理工場の即時廃止
  4. 原子力輸出の禁止
  5. 使用済み核燃料の総量規制と100年の乾式貯蔵場所の社会的合意形成
  6. 原子力損害賠償金額の大幅引き上げ (最低20兆円規模)
  7. 世界最高水準の原子力規制体制確立と安全基準改訂・適用
  8. 危険度総合評価・ランク付けに沿った廃炉計画と実施体制構築

- **「一石三鳥」の仕組みづくり**
- ・電力システム改革
  - ・電力危機への対処 (値上げ相当分を交付国債で賄う)
  - ・東電法的整理と3分割
  - ・損害賠償と被ばく防護
  - ・廃炉地域経済シフトプログラム

- **公正な電力・エネルギー市場形成**
- ・着実な廃炉と乾式中間貯蔵の実施
  - ・電力システム改革による電気料金低下
  - ・経済・経営に良いエネルギー効率化
  - ・分散型発電・コジェネの普及促進
  - ・再生可能エネルギー普及の加速化
  - ・創造的なエネルギー産業の創発

さらなるエネルギーシフト